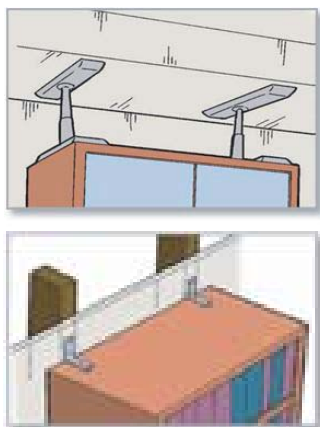


☆家具の転倒防止対策☆

家具の転倒による被害を防ぐため、タンス、食器棚などの家具は、動かないようあらかじめ固定しておきましょう。冷蔵庫などは意外と動きやすいので、本棚用のL字金具（筋交いのあるもの）でしっかりと固定します。金具側の板と冷蔵庫本体の間に発泡スチロールを挟めば、冷蔵庫を傷つけることはありません。



避難

危険が迫った時はみんなで避難

がけ崩れの危険が生じた場合など、人命に危険が及ぶと判断したときは、被害の発生を未然

に防ぐため、町長が避難の勧告または指示を発令します。発令されたら速やかに指定の避難場所へ避難しましょう。

また、地震による火事で身近に危険が迫った場合や、河川のはんらんなど自ら危険と判断した場合などは、すぐに自主的に避難してください。

避難方法は、自主防災組織や町内会などの単位で、リーダーや警察官などの誘導にしたがって、徒歩で行います。

このとき持ち出す物は、食料、飲料水、非常持ち出し品など必要最小限にしてください。

備蓄

食料と水、救急衣料品の備蓄

災害が起きると、輸送活動に大きな支障が生ずるため、お金があっても食料品を買うことはできないという状況も考えられます。また、病院自体の被災やけが人が大量に発生することから、けがをしても病院ですぐに治療

を受けることができなくなります。

このため、救援活動が受けられるまでの間、各家庭では家族構成を考えて食料や水を蓄えるとともに、救急医薬品を準備しておくことも必要です。

☆持ち出し品リスト☆

① 食料：3日分

主食：米、乾パン、インスタント食品など

副食：漬物、梅干し、佃煮、缶詰など

調味料：みそ、しょうゆ、塩など

② 飲料水：1人につき1日3リットルの水を最低3日分（その他、多目的に使えるよう風呂に水を入れておく。）

③ 救急医薬品：包帯、絆創膏、滅菌ガーゼ、三角巾、体温計、はさみ、ピンセット、傷薬、目薬、解熱剤、かぜ薬、常備薬など

④ 非常持出品：携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、現金、貴重品、衣類、タオル、ティッシュペーパーなど

※この他、赤ちゃんのいる家庭では、ミルク、ほ乳瓶、離乳食、おむつ、着替えなどを用意しましょう。



非常用食品

共助

自主防災組織の活動に参加しましょう

鬼北町には、47の自主防災組織が結成されています。地域の自主防災組織が実施する、防災訓練や防災活動に参加しましょう。※自主防災組織のない地域は、自治会を中心に結成について話し合います。